

安倍内閣 高齢者ねらい撃ち 医療と介護 負担増あいつぐ

医療費



◇高額療養費

医療費の窓口負担が過重にならないように月ごとの上限額を定めた「高額療養費制度」で、70歳以上の上限額を引き上げました。年収370万円未満で住民税を課されている人は、通院医療費の上限額が月4000円増の1万8000円になりました。昨年8月に続く引き上げで、同月以前の上限額と比べ計6000円増の1・5倍にはね上がっています。1270万人が対象です。

◇通院時の負担上限を廃止

年収370万円以上の170万人は「現役並み」の収入だとして、月5万7600円に設定していた通院時の負担上限を廃止しました。入院と合わせた世帯上限額を年収ごとに現役世代の区分と同じ三つに区

安倍政権は8月1日から、高齢者が医療・介護サービスを利用した際の自己負担を一部引き上げました。負担増押しつけの姿勢が厳しく問われます。

分。課税所得に応じて「外来」で8万0100円、16万7400円、25万2600円にしました。

介護保険



◇自己負担 1割→2割→3割

介護では、サービス利用者の自己負担割合(原則1割)を、「現役並み」の収入がある65歳以上について2割から3割に引き上げました。

2015年8月からの2割化に続く引き上げです。単身では年収340万円以上、夫婦世帯では年収463万円以上の約12万人に適用されます。1割負担の原則を投げ捨て、サービス利用料を2割負担に引き上げる「突破口」にされかねません。

JCJ賞 日本ジャーナリスト会議 しんぶん赤旗が受賞

しんぶん赤旗がJCJ(日本ジャーナリスト会議)賞を受賞しました。受賞対象となったのは、「米の核削減、日本が反対」「沖縄への核貯蔵庫建設を肯定」などの一連のスクープ記事です。

JCJは、米オバマ前政権の核削減に反対し沖縄への核貯蔵庫建設を肯定する秋

米の核削減、日本が反対

沖縄の核貯蔵庫建設を肯定

葉現外務次官の証言を暴いた赤旗報道について「『核の傘』、核抑止論がいかに危険かを実証している。この報道は他紙で相次ぎ、国会でも大きな反響を呼んだ。核兵器禁止条約に反対する日本政府の源流も示しており、こうした政府の立場にきちんとメスを入れたことを評価したい」と講評しました。

政府の核容認を暴露